

令和5年5月1日



園長 中川 宏美

みらいだより

入園・進級して1か月が過ぎ子どもたちは、新しい生活に慣れてきました。緊張していた子どもたちの表情もやわらぎ、笑顔がみられるようになりました。

新緑が目に見え、散歩や園庭でみつけた草花や虫を図鑑で名前を調べ教えてくれます。水あそび、泥んこあそびが盛んになりました。みんなが思い思いに遊んでいます。自然の中で遊ぶ子どもは、いきいき目を輝かせています。新しい環境での疲れがでてくるころでもあります。健康には十分に留意していただくようお願いいたします。

5月

月	日	曜	行事予定
5	6	土	お弁当の日
	12	金	親子遠足(ひかり)
	17	水	身体測定(0・1・5歳児)
	18	木	身体測定(2・3・4歳児)
	20	土	お弁当の日
	23	火	交通安全教室(ひかり)
	27	土	保護者交流会(うさぎ)
	31	水	歯科検診

・サツマイモの苗植え
※変更の場合あり

こいのぼり



「こいのぼりを作りたい」という声があがり、ひかり組(5歳児)みんなで協力してこいのぼりを作りました。園庭に出ると、風をはらんで泳ぐ姿に歓声を上げます。「もうすぐ子どもの日」という気分は高まっています。季節の行事を大事にしています。

今年度から、親子遠足を、ひかり組(年長)で実施することにしました。

ドキュメンテーション配信

子どもは、遊びからたくさんのことを学んでいます。「何を感じ」「気づき」「理解できる」ようになるのか、「試す」「工夫する」「表現する」など学びに向かう力がドキュメンテーションに毎日記録されています。子どもたちの豊かな感性やおもしろい発想、友だちへの思いやり、協同する力をドキュメンテーションからみつけてください。



子どもがやりたい！ 面白い！ もっとやりたい！（うさぎ組：3歳児）

昨年からは海の生き物に興味を持ち「この魚の名前はなに？」「図鑑で探してみる」探究を重ねていました。

3月には、マリホ水族館へ行きました。「チンアナゴがいた」「たこだよ」「たかあしがにはどこ？」目をきらきらさせて発見を楽しんでいました。



「水族館へ行ったよ」
実体験は豊かなものになっていきます。うさぎ組に進級して海の生き物について「もっと知りたい」になっています。

どんぐり組(0歳児)：「これは、わたし？」

鏡に映っている自分の姿を何度も確かめていました。角度を変えたり口や目を動かして不思議そうな様子。映っているのが自分だと気づくようになると鏡の性質がわかるようになってきます。



たけのこ組(1歳児)：「ぼくも」

友だちがカップからお皿に水をいれているのを見て、同じようにお皿に水を入れます。友だちがやっている遊びに興味を持ち、水が流れたり跳ねたりする音を聞いたり、カップに水をすくう経験を通して、水に親しみ性質に気付いていきます。

りす組(2歳児)：「雨上がりには・・・」

「パタパタパタ」「チョコクッキー作っとるんよ」「みてみて、チョコレート入れた」「ギュッギュッしとるんよ」と泥をいろいろなものにみたてて夢中で遊びます。雨上がりの園庭で、遊びの幅が広がります。



うさぎ組(3歳児)：「これ、まめじゃない？」

「これ草？えっこれ豆じゃない」「ちょっとむいてみるわ」「ほんまに豆がでてきた」「すごい、小さい豆がなかに入っていた」「食べたくなってきた。これ食べられる」からすのえんどうをみつけ、匂いを嗅いだり、皮を剥いたり五感をフル稼働しています。

そら組(4歳児)：「様々な発見」

「行くよ～」「山の上からだと遠くまで飛ぶんじゃない？」「風が吹いたらもっと遠くまで飛ぶよ」「ここくっつけたら壊れんのんじゃない」と遊びの中で自然現象や物の性質など様々な発見をしています。



ひかり組(5歳児)：「シーソー」

「こっちは、4人も乗ってるよ」「こっちも多いからおりて」左右の高さをそろえたいようです。遊びながら、人数や重さ、バランスなどいろいろなことに気づいていきます。